



辻川だより

第20号 [2011冬号] 平成23年12月3日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujikawa/>



8日 12:00 鈴の森神社宮入



8日 10:50 井ノロの休憩後

トピック 9月17日深夜2時すぎ、辻川区の少なくとも3ヶ所に落雷。公民館は漏電ブレーカーが働き停電に。区の放送設備も東所方面の回線が機能しなくなった。一祭り前に修復



◆1月1日・2日 正月祭り（鈴の森・高藤稻荷神社）	1月22日（日）13:30～ 平成24年度辻川区総会
◆1月8日（日）10時30分 冬えびす（鈴の森・恵美酒神社）	1月28日（土）19:30～ 新隣保長会議

◆1月14日（土）15時 じんぐ（鈴の森・高藤稻荷神社）

■[11月] 祭礼行事のお知りやう

◆1月1日・2日 正月祭り（鈴の森・高藤稻荷神社）

◆1月8日（日）10時30分 冬えびす（鈴の森・恵美酒神社）

◆1月14日（土）15時 じんぐ（鈴の森・高藤稻荷神社）

このような事を考へると、地震や水害等の緊急時に対応出来る地域づくり、人と人とのつながりが重要になつてきます。「地域で出来ることは、地域でどうぞむ」との必要性を感じます。

地域で暮りす全ての方が、安心して暮らせるようになり、地域住民が主体となつた見守り活動を含む、地域支えあいの体制づくりの計画協力をよろしくお願い致します。

「地域総合援護システム推進計画」に取り組みたいと考えています。地域住民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今年も、あと僅かとなりました。この一年を振り返って一番印象に残る出来事は、やはり3月に起きた東日本における地震と津波による災害と原発事故でしょ。地元福崎町においても、の月の1つ吹台風による豪雨で初めて避難勧告が発令されました。

このよきな事を考へると、地震や水害等の緊急時に対応出来る地域づくり、人と人とのつながりが重要になつてきます。「地域で出来ることは、地域でどうぞむ」との必要性を感じます。

地域で暮りす全ての方が、安心して暮らせるようになり、地域住民が主体となつた見守り活動を含む、地域支えあいの体制づくりの計画協力をよろしくお願い致します。

「地域総合援護システム推進計画」に取り組みたいと考えています。地域住民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今年も、あと僅かとなりました。この一年を振り返って一番印象に残る出来事は、やはり3月に起きた東日本における地震と津波による災害と原発事故でしょ。地元福崎町においても、の月の1つ吹台風による豪雨で初めて避難勧告が発令されました。

このよきな事を考へると、地震や水害等の緊急時に対応出来る地域づくり、人と人とのつながりが重要になつてきます。「地域で出来ることは、地域でどうぞむ」との必要性を感じます。

地域で暮りす全ての方が、安心して暮らせるようになり、地域住民が主体となつた見守り活動を含む、地域支えあいの体制づくりの計画協力をよろしくお願い致します。

「地域総合援護システム推進計画」に取り組みたいと考えています。地域住民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



8日 11:45 宮入前の若い衆



8日 13:00 奉納相撲

10・11月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。①町内会費・協力金・地租割りの徴収について、②来年度事業に関して名隣保・各種団体から提出された要望(十月末締切)を検討しました。③旧道カラーリア舗装(下記)は町へ『歩道』強調を要望した。

10月1日の日(水)、役場で行われたこの委員会は平成20年度から年2回開催されています。辻川区からは区長以下七名の委員が出席した。今回のテーマは兵庫県の「地域の夢推進事業」(平成23年度から25年度までの3カ年事業)として取り組む、「辻川地区舗装美化事業」の施工内容と三木家住宅の活用について。街路美化化の第一期工事としては今年度、元松岡百貨店から田尻交番までがストリートアート工法で舗装予定だやうだ。なお、経費は県と町が折半し負担する。

◆10月17日(土) 道普請秋祭りに向けた準備に入りました辻川に幟(のぼり)が立つた。10月2日には老人会によって辻川の森神社境内が掃き清められ、辻川には青年団はじめ有志によってしめ縄が張られた。肩合せの太鼓の音が心地よい一日となつた。

◆10月8日(土) 秋祭りの日(日) 秋祭り平成4年に新調され今年20年目の辻川屋台。昨年の西光寺、今年の中島の先陣を切り、田原地区で最初に自らつくりた屋台であることを記録などめたい。

今年の特徴は青年団「少女隊」の出現か。祭り準備や道中の露払いから各休憩所での掃除や片付けに至るまで大活躍。

献身的な裏方姿に感動した。

練り方についてせどりだつたか。辻川の宮出では初

協議員会は今

■の田へ田(木)、協議員と取扱

隣保長・各種団体役員会議

現したが、境内が狭くて真横に並べるには無理があった。總じて、身長での棒割り課題か。胴突や道中での煙草のポイ捨てはい法度。大切な屋台、多くの注目があることも忘れないでいたい。

青年団の人員が不足する中で3年間も団長を務めた村井君はじめ青年団員に乾杯。そして各種団体の皆さんへの支えに感謝。来年度以降の秋祭りについては、青年団の要員確保、その準備や組織運営への年配者の配置等、先送りでない課題も残された。



8日 13:40 井ノロと二台練り ↓
8日 12:10 ↑
鈴の森神社宮入
← 8日 17:00 後片付け「少女隊」

◇11月10日(木)
辻川山公園の清掃ボランティア活動に参加しました。

今年度最後の4回目。ココロソクラブ等のボランティアグループの参加があり、総勢は約30名でした。内辻川からはわざか3名。草抜きや秋祭りのゴミ拾いをしました。私たちの身近な散歩コースです。来年はあなたも是非!



区内3ヶ所のフワワーポットや花壇に葉ボタンを植え替えました。年の瀬近しです(環境担当)。

◆11月10日(木)

区内3ヶ所のフワワーポットや花壇に葉ボタンを植え替えました。年の瀬近しです(環境担当)。



9 松岡源之助の周辺の人々
みる昔の辻川の賑わい

9

松岡源之助の周辺の人々

鈴ノ森神社の玉垣の中で「北海道」の地名を刻んだもの、「松岡宗次」「松岡田之助」「松岡為次郎」「鈴木大吉」「松岡勘藏」があります。

上富良野町の上田美一氏は、「明治三十年から四十年迄、東中地区に於て郷土の草創期に尽力された方々」として、「東中地区内開拓者名」を掲げています。^(注4)そこには、「明治十三年 松岡源之助、松岡宗次、松岡勘藏」、「明治四十年 松岡富次」^(注5)らの名があります。百之助、勘藏、為次郎の渡道について、眞弓氏は、「詳しい事情は判らないが、多分母堂の手引きで移住し来つたのではないかと思う。^(注6)」と書いています。

兵庫県子ども会育成大会で、辻川子ども会が(社)全国子ども会連合会より優良団体として表彰されました。福崎町では8年ぶりのことであります。^(注7)

11月20日、平成23年度会稽合会より優良団体として表彰されました。福崎町では8年ぶりのことであります。^(注7)

◆11月26日(土)

人権・青少年健全育成研修会

被災地のあなたに…お願いです。あなたの心だけは流れないので、不幸の津波には負けないで」「…朝はかなりすやってさあすくじけないで」九十九歳の詩人柴田トヨさんの詩や人権啓発映画「クリームパン」を通して、24名の出席者がかけがえのない命をつないでいく意味を考えた。参加者が少なくて少し残念。



↑ 9日22:50 乗子・青年団集合



↓ 9日21:00 新しい夜提灯



9日14:00 宮入→



9日9:00 ↑
北野と練る

9日9:10 →
鈴の森神社
参道を上る



松岡宗次：磯田家の生まれで、源之助の姉、のぶの婿養子として松岡家に入りました。北海道に渡り、源之助と共に行動し、常に源之助の側にいた人です。松岡木材の要職を務める傍ら、町村会議員などの公職にも就いています。宗次の墓は、妙徳山の墓地の一一番高いところにあります。その子である茂は外科医で、茂の妻は福崎の新町で眼科医を開業していました。

和吉は為次郎の弟で、上田氏の回顧にあつた富次は為次郎の二男です。和吉は東京で、富次は北海道で没しました。為次郎の墓は妙徳山墓地と大門の墓地にあります。

(注4)「上富良野町郷土をめぐる会」機関紙「郷土をめぐる会」第一号(一九八一年六月三〇日発行)

追慕記

(注5)龜坪中池西側の山中に石灰岩を探掘していた跡(露頭)が残る。ずりの石灰岩から2億5千万年前のフズリナやサンゴの化石が産出する。

(注6)燃えたのは今の辻川屋台蔵辺りに明治四〇年頃まであった恵美酒神社という伝承もある(十

松岡勘藏：現在では無住寺の逝去にともない無くなりましたが、百之助家はその分家で、庄屋を務めていました。柳田國男の長兄鼎と同年代で、揃って家を出ましたが、京都で発見され連れ戻された、という経歴をもっています。また、石灰生産(注3)を手懸けたのですが、井ノ口の保管場所から出火し神社を焼き(注4)、その補償に私財をはたき、源之助を頼つて渡道をしたのでした。松岡木材の会計経理を担当していました。そのモノも昭和六十三年四月二日」と刻まれています。松岡勘藏の子、青島節一は、現在、空知郡上富良野町東七線北一九号に住んでいます。

聖靈菩提之為此處ニ建立スルモノ也。昭和六十三年四月二日」と刻まれています。松岡勘藏の子、青島節一は、現在、空知郡上富良野町東七線北一九号に住んでいます。その墓は妙徳山の西北の墓地にあります。



松岡勘藏：本家松岡は、最

となつていますが、田尻の熊野神社の隣の円乗寺の墓所に、真新しい墓があります。その向かって左側面には「松岡安藏式男

・松岡秀隆著『長谷川善雄歴観』

「鈴の森神社の玉垣」連載完

一隣保の伊藤源五さんより)。

《全4回連載の参考文献》

・松岡秀隆著『長谷川善雄歴観』

・松岡秀隆著『長谷川善雄歴観』



来年度改築予定の山口堂と大日堂(奥)

『山口御廟設営圖卷から』

10月4日の委員会では、①建設費 ②財源 ③建設に向けての今後の進め方、等について話し合った。

鈴木大吉については全く判つていません。^(注7)存知の方があれば、教えて下さい。



鈴木大吉については全く判つていません。^(注7)存知の方があれば、教えて下さい。

なお、歴史探検隊による山口堂の調査では、祭られている仏像の制作年は大日如来(鈴の森神社のご本尊)が寛文元年(一六六一年)、薬師如来が貞享四年(一六八七年)であった。に眞申され協議員会にかけた後、総会で承認を受ける必要がある。

回連載の『松岡源之助』さんはいかがでしたか。松岡さんには郷土の偉人に關する多数の執筆があありますので、是非また登場いただきたいと思います。さて、来年度の特集は『辻川の道』。江戸時代後期から現代に至る道とまちの変遷を古地図や国土地理院の地形図をもとに振り返ります。少しだけ期待ください。(田崎)

編集後記